

平成28年度
藤枝市教育委員会事業評価報告書

平成28年11月
藤枝市教育委員会

－ 目 次 －

事業評価の趣旨	P 1
平成28年度事業評価	P 1
藤枝市子ども未来応援会議 教育委員会事業評価部会員名簿 ...	P 2
事業評価対象事業一覧	P 3
各事業の評価報告	P 4
教育委員の活動状況報告	P 14

1 事業評価の趣旨

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、自らが実施する事務事業が効果的かつ着実に執行されているかどうかについて点検・評価を行い、P D C Aサイクルを確立することにより、事務事業のさらなる充実を図ります。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律】（抜粋）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（・・・中略・・・）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 平成28年度事業評価

市が平成27年度の主要事業として位置付け、教育委員会が実施した9事業について、教育環境の充実を総合的に推進することを目的に各方面の有識者からなる「藤枝市子ども未来応援会議」に「教育委員会事業評価部会」を設け、必要性、有効性等の観点から事業評価を実施しました。

事業評価部会

実施日：平成28年10月12日（水）

場 所：藤枝市役所特別会議室

藤枝市子ども未来応援会議 教育委員会事業評価部会

敬称略

	氏名	所属団体等
部会長	松永 由弥子	静岡産業大学 准教授
委員	小泉 一治	県立藤枝特別支援学校長
委員	清水 和義	清水園芸代表
委員	石井 道乃	PTA連絡協議会
委員	牧田 伸明	校長会

事業評価対象事業一覧

【平成27年度 主要事業】

No.	事業名	担当課
	1 「いのちと子ども」を未来につなげる (1)危機管理体制の強化	
1	⑩ 学校校舎ガラスの飛散防止対策	教育政策課
	(2)子育て支援の充実 (3)4つの日本一に向けた取組 ■ 健康・予防 ■ 教育	
2	① 特別支援教育の推進	学校教育課
3	② 外国人児童の学校生活への適応指導	学校教育課
4	③ 子ども未来応援事業 《人口増加プロジェクトワークショップ提案事業》	教育推進室
5	④ 葉梨小学校校舎増築工事	教育政策課
6	⑤ 小学校トイレの洋式化	教育政策課
7	⑥ 藤枝地区公民館の整備(仮称:藤枝東公民館)	生涯学習課 図書課
8	ふじえだ4Kマイレージの普及推進	教育政策課 環境政策課
9	ふじえだ型科学・ロボット教育の推進	教育政策課 生涯学習課

各事業の評価報告

事業名	学校校舎ガラスの飛散防止対策			所管 課館名	教育政策課	事業No.	1
事業の概要及び目的	小中学校施設の窓に設置されているガラス飛散防止フィルムのうち、耐用年数の10年が経過している校舎及び体育館のフィルム貼替えを行い、児童生徒が安心して学習できる環境を確保し、教育環境の向上を図った。						
事業費	H27 決算	89,565	千円	財源 内訳	[市費]	29,856	千円
					[国県補助金]	59,709	千円
事業内容	<p><飛散防止フィルムの貼替え完了></p> <p>小学校 西益津小学校 外8校 (校舎7校 5,162㎡、体育館5校 845㎡)</p> <p>中学校 瀬戸谷中学校 外6校 (校舎6校 4,586㎡、体育館2校 240㎡)</p> <p>事業費 89,564,400円</p> <p>完了日 平成27年9月9日</p>						
成果	<ul style="list-style-type: none"> 耐用年数を超える学校施設の窓ガラス飛散防止フィルムの貼替えを実施したことにより、大規模地震発生時における学校施設の安全性が向上した。 						
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度夏休み期間中に、小学校(校舎)1校及び中学校(校舎)1校の窓ガラス飛散防止フィルム貼替えが完了した。 今後もおおむね10年の耐用年数で随時貼替えを実施するにあたり、新たな財源確保に努めるとともに、強化ガラスへの改修等も検討していく。 						

事業評価部会による評価	
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 地震等災害に備える上でも必要不可欠な事業である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 地震等災害に対する施設の安全性確保について有効である。
公平性	<ul style="list-style-type: none"> 市内全ての学校施設において実施され、公平性は保たれている。

事業名	特別支援教育の推進			所管 課館名	学校教育課	事業No.	2
事業の概要及び目的	<p>特別支援教育の充実を図り、特別支援学級に在籍する個の特性に応じたきめ細やかな配慮が必要な児童生徒への対応のために、市内すべての特別支援学級設置校に支援員配置を行っている。</p> <p>平成27年度において、地域の学校に通学できる環境を整え、特別支援学級新設3校を含む小学校10校、中学校7校すべてに支援員を配置した。</p>						
事業費	H27 決算	21,582	千円	財源 内訳	[市費]	21,582	千円
					[国県補助金]	0	千円
事業内容	<p>平成27年度、青島東小学校(情緒)、葉梨中学校(知的)、大洲中学校(知的)の新設により小学校10校、中学校7校での特別支援学級の設置となった。特別支援学級設置校には児童生徒への対応のために支援員合計20名を配置した。</p> <p>各校での充実した指導を継続し、特別支援学級の児童・生徒の実態をつかんできめ細やかな指導を進めた。</p>						
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の新設により、対象児童生徒への個に応じたきめ細やかな支援が可能となった。 ・保護者にとっては、特別支援学級についての正しい理解が進んだことで、適正就学への方向性へと進んできている。 						
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの学校で特別支援学級に通えるよう、就学支援を進め、個々の実態を把握しながら、今後も状況に応じて特別支援学級の新設を進めていく。 ・特別な支援を要する児童生徒数が増加しているため、受け皿となる特別支援学級・通級指導教室・支援教室の増設や指導員の確保、指導員の研修体制の整備など指導力の向上に努める。 						

事業評価部会による評価	
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を要する子どもが年々増加しており需要も多いため、支援員の配置は必要不可欠である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級においては、少人数で支援が受けられるように教員や支援員が配置され、非常に手厚い指導が行われている。 ・特別支援学級を始め、通級指導教室、する〜ぱす等、多角的に子どもに応じたきめ細やかな指導が行われていることは評価できる。
公平性	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級すべてに支援員を配置しており、公平性は保たれている。 ・特別な支援が必要な子どもが通う通常学級等に対する学校支援相談員も合わせて配置されているが、今後も特別支援学級とあわせて支援を行っていく必要がある。

事業名	外国人児童の学校生活への適応指導			所管 課館名	学校教育課	事業No.	3
事業の概要及び目的	市内に居住し、公立小中学校に在籍する外国人で日本語指導が必要な児童生徒が平成27年度は54人いた。学校と連携をとり、児童生徒の実態を把握しながら、学校生活における基本的な支援・指導を指導員（今年度より2名）が巡回しながら対応した。						
事業費	H27 決算	1,416	千円	財源 内訳	[市費]	1,416	千円
					[国県補助金]	0	千円
事業内容	週5日（月～金）、2人の指導員がそれぞれ1日4時間の指導を行っている。平成27年度末までに、37週の指導日の中で、個に応じた個別指導やグループ指導を行ってきた。						
成果	学校生活の中で、言語理解の困難さをもち、不安や不便を抱えている児童生徒に学校生活の中で必要な日常会話の理解が進むよう、丁寧な指導を行った。児童生徒によっては、身につけているようで、実はそうではない部分が見つかるケースがあり、個々に応じた支援によって指導の成果がみられた。指導日を楽しみにしている生徒が増え、学校生活での楽しみや自分の居場所を感じることができるようになっている。						
今後の方向性	年々、日本語指導を必要とする児童生徒は増加していることに加え、日本語が全く話せない児童生徒の転入も数多く見受けられる。これからも需要が増えることが考えられることから、実情に応じた指導員の確保に努めていく。日本語指導が必要な児童生徒が増加しているため、個々の必要性を明らかにして指導を進めていく。また、指導者の向上のための研修体制を整備していく。						

事業評価部会による評価	
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 国際化が進む中で、転入してくる外国人児童生徒が学校生活になじむための施策は必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 指導員が1名増員されて、英語とスペイン語の指導員が児童生徒のニーズに応じて、よりきめ細やかな対応ができるようになり有効である。 外国人児童生徒が不安を取り除き、安心感を感じて学校生活になじめるようになっている姿が見られることは評価できる。
公平性	<ul style="list-style-type: none"> 英語やスペイン語の指導員が児童生徒のニーズに応じた指導を行っており、公平性は保たれている。

事業名	子ども未来応援事業 《人口増加プロジェクトワークショップ提案事業》			所管 課館名	教育推進室	事業No.	4
事業の概要及び目的	教育振興基本計画を推進し「教育日本一」を実現するため、行動計画を推進するとともに、こども未来応援会議を開催して、市民総がかりの教育を目指した。ふじえだマナー啓発のため、年代別ふじえだマナーブック（中学生版）を作成した。また、ふじえだマナー合言葉を選定し、市民意識の醸成のために活用した。						
事業費	H27 決算	567	千円	財源 内訳	[市費]	567	千円
					[国県補助金]	0	千円
事業内容	<p><子ども未来応援会議> 8月26日開催。有識者等の委員13名が出席。26年度の行動計画の進捗状況を報告し、今後の教育施策の方針等について意見を伺った。</p> <p><中学生版マナーブック作成> 未就学児、小学校低・高学年版に続き、中学教員等11名で構成するマナーづくり会議で内容検討のうえ、中学生版マナーブック『藤枝っ子のはばたき』と教員向け『活用の手引き』を作成し全中学生に配布した。</p> <p><ふじえだマナー“愛”言葉の選定> 教育長を筆頭に教員、保護者等8名で構成する選定委員会で標語の募集及び作品選考を行った。7月から2ヶ月間募集し、2,480作品の応募の中から、優秀作5点、優良作25点を選定、作者を表彰した。また、電柱広告会社と提携し、企業とタイアップした電柱広告による標語の普及啓発を実施した。</p>						
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・年代別マナーブックについて昨年度作成した小学生版の利用状況を調査したところ、ほとんどの小学校で授業や朝の会、児童会等の活動に利用しており、中学生版では、地域社会に出る機会が増え、人とかかわる場面がますます中学生に対し、自主的にマナーについて考える機会となった。 ・「合言葉（標語）」を募集した結果、小学生を中心に中高生や保護者、一般市民から多くの作品が集まるなど、マナーに関する市民への関心を高めることができた。 						
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども未来応援会議を開催し、教育施策の方向性について有識者から意見をいただく。 ・年代別マナーブックの配布や、ふじえだマナー“愛”言葉を利用した、市民へのマナー啓発を行っていく。 ・年代別マナーブックや“愛”言葉を活用し、子どもたちが『当たり前』を身につけるよう、各学校の取組み状況を調査するなどし、効果的な活用方法を提案していくとともに、市民への普及啓発を推進する。 						

事業評価部会による評価	
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・教育振興基本計画や行動計画を推進するための会議の開催や事業実施は非常に重要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価や市民アンケート等の継続した調査結果を基に、10年後にどのような効果がでるか期待したい。
公平性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民総がかりの教育を目指して、幅広く市民の意識啓発を推進している事は評価できる。

事業名	葉梨小学校校舎増築工事			所管 課館名	教育政策課	事業No.	5
事業の概要及び目的	葉梨小学校では、学区内の人口増加に伴う児童数の増加に対応するため、特別教室等を普通教室に転用している。しかし今後も児童数は増加が見込まれるため、校舎の増築工事を行った。平成28年4月から供用を開始した。						
事業費	H27 決算	144,925	千円	財源 内訳	[市費]	76,731	千円
					[国県補助金]	68,194	千円
事業内容	入札 平成27年6月25日 契約額 139,320千円 工期 平成27年7月8日から平成28年2月26日						
成果	児童数の増加による教室不足に対応し、普通教室6教室の増設により教育環境の充実を図った。						
今後の方向性	平成28年4月増築校舎の供用を開始している。						

事業評価部会による評価	
必要性	・ 児童数の増加に対応し、教育環境を整えることは必要である。
有効性	・ 児童の教育環境が整備され、充実が図られたことは有効である。
公平性	・ 児童生徒が等しく整った教育環境を享受できることは重要である。

事業名	小学校トイレの洋式化			所管 課館名	教育政策課	事業No.	6
事業の概要及び目的	児童生徒の学校生活の環境改善を図るため、学校トイレにおいて和式から洋式便器への更新を推進する。特に小学校の低学年（1年生）用トイレを最優先して洋式化を推進する。併せて子どもに親しまれる明るいトイレ作りを行った。						
事業費	H27 決算	8,027	千円	財源 内訳	[市費]	8,027	千円
					[国県補助金]	0	千円
事業内容	工期 平成28年2月10日から平成28年3月22日 西益津小学校 12㎡ 4基 朝比奈第一小学校 10㎡ 6基						
成果	2校において1年生用トイレの洋式化が完了し、段差の解消と床の乾式化により、明るく衛生的なトイレ環境となった。						
今後の方向性	平成31年度までに小学1年生用トイレ（13校72基）の洋式化の完了を目指す。その後は順次、市内全校の洋式化を進める。						

事業評価部会による評価	
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが和式トイレに行けず体調不良や不登校になるようなケースも全国的にはある中で、子どもが行きやすいトイレ環境整備を進めることは必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 衛生的で清潔感のあるトイレ環境の整備は有効である。 日本の文化としての和式トイレの良さもあると思うが、子どもの現状を考えると洋式化も評価できる。
公平性	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの生活環境にあったトイレ環境をまずは市内の全ての1年生用トイレにおいて整える事は公平である。

事業名	藤枝地区公民館の整備 (仮称：藤枝東公民館)			所管 課館名	生涯学習課 図書課	事業No.	7
事業の概要及び目的	<p>平成28年4月の開館を目指し、平成25年度より事業に着手し平成28年2月に完成した。</p> <p>【施設概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場 所：藤枝市五十海三丁目12番地の1 ・建築構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造の2階建 ・敷地面積：4,386.9㎡ ・延床面積：1,496.87㎡ ・太陽光発電：10kwh発電機1基、15kwh 発電機1基 ・駐車場：75台 駐輪場：28台 ・施設内容：【1階】集会室、図書室、子ども広場、多目的トイレ、エレベーター 【2階】学習室、和室、料理実習室、多目的室、多目的トイレ 【野外】子ども広場（中型滑り台1基ほか） ・付加施設等：行政センター、子育て支援、防災機能 						
事業費	H27 決算	582,592	千円	財源 内訳	[市費]	558,664	千円
					[国県補助金]	23,928	千円
事業内容	<p>完 成：平成28年2月 竣工式・内覧会：平成28年3月27日 開 館：平成28年4月1日 事業内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事監理 期間：H26.12.19～H28.3.31 金額：10,152千円(株)高木滋生建築設計事務所 ・建築工事 工期：H26.12.19～H28.2.29 金額：386,640千円(株)山田組 ・電気工事 工期：H26.12.19～H28.2.29 金額：66,312千円(株)小林電気工業(株) ・空調工事 工期：H26.12.19～H28.2.29 金額：39,420千円(株)エクノスワタナベ ・衛生工事 工期：H26.12.19～H28.2.29 金額：29,700千円(株)青島工業 ・太陽光発電工事 工期：H27.7.16～H28.2.29 金額：23,760千円(株)飯田電機 <p>他、備品購入、図書館システム導入など</p>						
成果	生涯学習の場としてだけでなく、地域づくり・コミュニティ醸成の拠点、地域防災の拠点、地域行政サービスの拠点としての機能を備えた施設整備が図られた。						
今後の方向性	藤枝地区の交流センターとしての役割を果たせるよう各種の事業を推進する。						

事業評価部会による評価	
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の交流拠点としての専用施設が藤枝地区に無かったため、住民のかねてからの要望も強く、必要性は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の場やコミュニティの拠点としてだけでなく、子育ての拠点としての機能もあるため利用率が高く有効な施設である。 ・太陽光発電や蓄電設備もあり、防災拠点としても有効である。
公平性	<ul style="list-style-type: none"> ・藤枝地区東部の住民の利便性が高まったが、西部の住民には生涯学習センター内に西館を設け従来の機能を残したためサービス低下には繋がらず公平性は保たれている。

事業名	ふじえだ4Kマイレージの普及推進			所管 課館名	教育政策課 環境政策課	事業No.	8
事業の概要及び目的	<p>市民の教育学習行動の実践に基づいてポイントを付与し、獲得ポイントが基準を満たした場合には「マイレージカード」を発行し、協力事業所（店舗・施設等）のサービスを受けるシステム。教育、環境、交通安全と一体的にマイレージシステムを構築し、先行実施していた健康マイレージと併せて「ふじえだ4Kマイレージ」として推進し、4K施策の市民へのさらなる定着化を図った。</p> <p>「教育」は、教育日本一を目指し、学校教育だけにとどまらず、教育を生涯学習や生涯スポーツ、社会マナーなどを含め広範に捉え、これらに関する取組みや、文化施設の利用、各種講座の受講など、広く市民の教育に関する意識の向上と市の取組みの啓発を図り、Web版及び紙版でシステム構築した。</p> <p>毎日取組む目標は、「勉強」「マナー」「運動」「地産地消」とし、「勉強」「マナー」「運動」については、個人ごとに自由設定とし、併せて、ボーナス項目を設定した。</p>						
事業費	H27 決算	1,891	千円	財源 内訳	[市費]	391	千円
					[国県補助金]	1,500	千円
事業内容	<p>9月補正事業として、平成27年11月1日からマイレージ制度の供用を開始し、教育マイレージWebシステムを導入運用している。</p> <p>平成27年度には、主に紙版チャレンジシート、利用ガイド、マイレージカード等を作製して運用準備にあたり、ポスター、のぼり旗等を作製してPRに努めた。</p> <p>平成27年度末までに、133人が登録し、その内の達成者122人にマイレージカードを発行した。</p> <p>また、4K達成者にはマイレージマイスターとして抽選で賞品を贈呈した。</p>						
成果	<p>「教育マイレージ」特典カードの発行というインセンティブを付与することで、市民の教育推奨行動の促進を図った。教育マイレージ制度が市民に広がることにより、子どもの手本となる模範行動に率先して取り組む市民が増え、市全体のマナー向上につながった。</p> <p>また、健康、環境及び交通安全マイレージとタイアップすることで、4K施策の効果的な普及・啓発が可能となり、快適な生活ができる環境づくりにつながった。</p>						
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 市民への啓発と新たな取組みへの意識付けのために、図書館、公民館等の文化施設とタイアップした情報提供を進める。 マイレージ達成者に対する特典を受けられるサービス提供協力事業所の拡大を進める。 						

事業評価部会による評価	
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 良い教育行動を推奨することができることは評価できるため、もっと啓発を進めるべきである。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ等様々な教育活動を行う事により加点されることは自己啓発につながると考えられる。
公平性	<ul style="list-style-type: none"> 在住市民だけでなく、在勤・在学者も対象としており公平性は保たれている。

事業名	ふじえだ型科学・ロボット教育の推進			所管 課館名	教育推進室 生涯学習課	事業No.	9
事業の概要及び目的	<p>豊かな教養と幅広い視野を持つ、輝く次世代人材の育成に資するため、市内の小中学生に科学技術等の多様な学習機会を提供し、科学やものづくりに関心を持つ子どもの育成を推進した。</p> <p>ロボットづくりを通して、子どもたちが自ら創意工夫することや失敗を乗り越えていくことで創造力や問題解決力を身につけるため、ロボットアカデミー事業を実施した。</p> <p>また、理科や科学の不思議に触れ、今まで以上に興味を持つ機会の創出としてサイエンスキッズ育成事業を実施し、子どもたちの好奇心を刺激するイベントを開催した。</p>						
事業費	H27 決算	3,035	千円	財源 内訳	[市費]	235	千円
					[国県補助金]	2,800	千円
事業内容	<p><ふじえだロボットアカデミー事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロボコン対策講座 10/9～11/25 計8回開催 市内中1～3年生 15名が受講 全国中学生創造ものづくりロボットコンテストを目指し、県大会に9チームが参加。好成績の3チームが東海北陸大会（岐阜）に出場した。 ・ロボットづくり講座 2/13～27 計3回開催 市内小5～中2年生 56名が受講 個々の技能レベルに合わせた空缶を積み上げるロボットづくりを行った。 <p><サイエンスキッズ育成事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・フジエダ☆宇宙（コスモ）キッズラボ 12/26開催 1,167人参加 JAXA協力による宇宙関連の展示や講演会など科学体感イベントを開催。 ・おもしろくてタメになるサイエンスショー 1/31 3/13 4回開催 1,109人参加 お笑いを交えたサイエンスマジックショーを開催。 						
成果	<p>講座やイベントの開催を通し、子どもたちに理科や科学への興味・関心を持たせるきっかけづくりや支援ができた。また、自分の将来を考えるキャリア教育にもつなげることができた。</p>						
今後の方向性	<p>ふじえだロボットアカデミー事業に関しては、課外事業の位置付けとして実施しており、今後、2020年のプログラミング教育の小学校教育課程化に向けた動きや、民間企業を活用した事業実施の方向性も検討していく。</p> <p>国庫補助（地方創生加速化交付金）を受け、平成28年度も引き続き同事業を拡大実施する。</p>						

事業評価部会による評価	
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他市のように常設の施設がない藤枝市にとって、科学館のような学習機会を提供する場としての事業は必要である。 ・ 社会を生き抜く力を育てる理科学やものづくりに関心を持つ子どもを育成することは必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般的には年齢が上がるにつれて理科離れが進む中、理科学に興味を持つ子どもや知識レベルの高い子どもが増加していて、有効性が高い。 ・ 大学の教授や大学院生から直接に指導を受けることができ、子どもにとって良い刺激となる貴重な機会を提供する有効な事業である。
公平性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関心の高い子どもをさらに高度に育成する事業と、まずは子どもに興味を持たせて底辺を広げる事業の両方を実施していて公平性が高い。

教育委員の活動状況報告

教育委員の活動状況報告

1 教育委員会の会議

藤枝市教育委員会では、藤枝市教育委員会会議規則（昭和 31 年教育委員会規則第 2 号）に基づき、月 1 回の定例会と、必要に応じ臨時会を開催しています。

教育委員会の所掌事務は、「当該地方公共団体が処理する教育に関する事務」（法第 21 条）と定められており、その範囲は広範であるため一部の事務は「教育委員会の権限の一部を教育長に委任する規則」により教育長に委任されています。したがって、定例会では教育長に委任できない事務について審議をしています。

また、平成 27 年度から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」に基づき、総合教育会議を開催し、市長と教育委員会の連携をさらに強固にしています。平成 27 年度には、2 回の会議が開催されました。

平成 27 年度の定例会及び臨時会での審議内容等は以下のとおりです。

【定例会開催回数】	12 回	【臨時会開催回数】	4 回
【附議件数】	28 件	【事業報告件数】	80 件

【附議の内容】

No.	案 件	件数
1	教育委員会規則等を制定し、又は改廃すること	13
2	議決を要する議案について市長に意見を申し出ること	0
3	附属機関の委員を任命し、又は委嘱すること	5
4	職員の人事に関すること	2
5	教育に関する一般方針を定めること	8
6	文化財の指定に関すること	0
	計	28

2 その他の教育委員の活動

教育委員は教育行政の更なる推進と円滑なる教育委員会の運営を図るため、委員会における審議とは別に静岡県市町教育委員会連絡協議会が主催する研修会などへの参加や市内小中学校の訪問をはじめ市及び教育委員会各課が主催する行事等の現場視察等を実施し、本市教育委員会の活性化を図るとともに教育委員としての資質の向上や自己研鑽にも務めています。

平成27年度活動状況は、以下のとおりです。

【教育委員の活動内容】

分類	案 件
1 調査・研究	(1) 藤枝市校長会夏季研修会への参加 (2) 指定校の研究発表会への参加 (3) 静岡県市町教育委員会連絡協議会が主催する研修会への参加
2 現場視察	(1) 市内小中学校訪問 (2) 各地区の「ふれあいまつり」の視察 (3) 市及び教育委員会各課が主催する各種行事へ参加

**平成28年度
藤枝市教育委員会事業評価報告書**

**平成28年11月
藤枝市教育委員会**